

## 麻疹ウイルス検査《PA法・HI法・NT法》 検査受託一時中断のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたびの麻疹流行に伴い、標記検査項目の測定試薬《PA法・HI法・NT法》の供給が不足し、現在解消できない状態となっております。

弊社といたしましては、やむを得ず2018年5月7日(月)受付分より、当該検査の受託を一時中断させていただきますこととなりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

つきましては、「麻疹ウイルス」EIA法を代替項目としてご利用いただきますようお願い申し上げます。尚、EIA法におきましても、今後の検体受託状況により、検査報告遅延が発生する可能性がありますことを予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

誠に突然のことであり、先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

敬 白

2018年5月

【記】

### ◇対象検査項目

麻疹ウイルス《PA法・HI法・NT法》

### ◇代替検査項目

麻疹ウイルス IgG EIA法(項目コード：2379)

麻疹ウイルス IgM EIA法(項目コード：2380)

**中断期日：2018年5月7日(月)受付分より一時中断**

※国立感染症研究所感染症学センターによる「医療機関での麻疹対応ガイドライン(第六版：暫定改訂版)」では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、EIA法が推奨、赤血球凝集抑制法(HI法)は、EIA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。